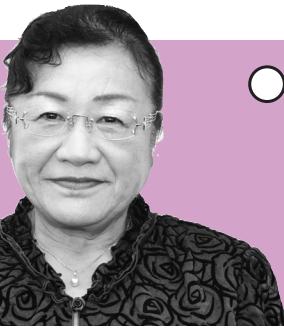


市民の会
富士根信子議員



○ 勝山市民総合文化祭について

問 今年度10月26日、27

日に開催された文化祭の来場者の方が「この頃の文化祭はさみしい」と話され、盛り上がりに欠けているように感じた。そこで、市の見解を伺う。

①勝山市民総合文化祭をどのように考えているのか
②文化祭を盛り上げる工夫が必要なら何か考えがあるのか

③勝山市民総合文化祭実行委員会への今年度の委託料28万円で今後も十分か
④文化祭使用備品の購入や文化祭当日のボランティアなどの人員募集の援助は可能か
⑤産業フェアと文化祭との兼ね合いは考えているか

行政の積極的な関わり、教育、地域や市民の協力と創意工夫で文化祭にも多くの市民が関心を持っていたきたいと考えている。

答 ①市民にとって欠かすことのできない文化の祭典であるという認識で

ある。

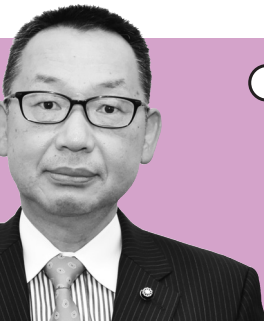
②芸能発表は若い方や子どもの参画も得るなど、話題性を高めて、もつと一般市民に関心を持ってもらえる工夫が必要であると考えている。また、展示発表については展示会場をもう少し集約したり、体験型イベントを取り入れるなど、工夫の余地があると考えている。

③勝山市文化協会など関係団体とも協議しながら、今後の安定した継続運営に向けて検討していく。

④展示備品については関係団体の意見を伺い検討していく。また、ボランティアなどについては、市民総合文化祭を知っていただくよい機会ともなり、人の輪が更に広がるので、実行委員会の中でも提案していく。

⑤市民総合文化祭と産業フェアの各会場で、双方の案内を行うことで、同日開催による相乗効果も生まれると考えている。

新風会・公明
下牧二郎議員



○ 避難生活の食生活について

その他の質問

- ・外国人との共生社会について
- ・市立図書館について

問 避難生活では様々な問題が発生することから多くの自治体では避難所開設・運営マニュアルが作成されている。当市においても、「勝山市避難所開設・運営マニュアル」が作成されており災害発生時にはこのマニュアルに沿った開設・運営がされるものと思われる。しかし近年の大規模災害では避難生活も長期間になり想定外の多くの問題が発生する。その中の一つに「食に対するストレス」が避難者の健康を害し最悪の場合は死に至る事例も報告されている。このことから、避難生活の各フェイズに応じた適切な栄養・食生活支援活動を実施することが重要となる。そこで「災害時栄養管理ガイドライン」が必要ではと考えるが市の見解を伺う。

答 被災住民の食生活や栄養状況がより早く平常時の状態まで回復するように、関連する機関、職種と連携を図りながら、発災直後からの食料確保や支援物資の有効活用、栄養評価を踏まえた支援活動を迅速かつ効果的に展開するために勝山市地域防災計画の食糧供給計画を見直す中で、「災害時栄養管理ガイドライン」について研究を進める。



昨年の総合防災訓練を視察する議員